

千代田区

町会ってなんだろう?どんな活動しているの?あらぶんちょ地区の町会長にお聞きします

あらぶんちょ町会見聞録

第29回



町会に参加すると、地域に仲間ができたり、自分が住んでいるまちに
対して愛着が生まれたり。まずはお祭りやイベントに参加してみよう!

写真・米山典子 取材、文・高橋瑞穂 (六識)



まちの安全を意識できるよう、年に一度、子ども
たちも夜警に参加。外で大きな声を出す経験
にもなる。終了後はお菓子のプレゼントも。

「楽しい」活動を行い、
多くの住民が気軽に
集まれる場を増やす

時代に合わせ柔軟に体制を変えながら、他の町会とも連携

飯田町町会 会長 河合 良郎さん



●飯田町町会

1953年に飯田町一丁目町会として発足し、1966年の
住居表示変更に伴い飯田町町会に名称変更。飯田
橋1・2丁目、九段北1丁目8～10番の住民と企業が属
する。町会員は、214世帯とマンション3棟。

新旧の住民たちが
共に安心できるまちづくり

私は文具店の5代目として、
この地で育ちました。幼いころ
から町会とはずっと関わりを持っ
てきたので、町会長を任せてい
ただいたのも宿命かなと感じて
います。20年間区議会議員を務
め、議員を辞めた2年前に前町
会長の希望もあり、10代目町会
長に就任しました。「楽しけれ
ば人が自然と集まる」というの
が私の考えです。昔と違い、
代々町会活動をしてきた家と近
年新しくマンションに越してき
たファミリーとは、元々のア
イデンティティが違うので、ど
んな方にも「楽しそう」という
イメージで、気軽に参加してい
ただけるような町会活動を常に
心がけています。



約半年かけて、倉庫に眠っていた子
ども神輿を修繕。今年の「氏神築土神
社例大祭」でお披露目となった。

子どもたちへ伝統を伝え
次世代へと橋渡しし

このあたりは「靖國神社みた
ままつり」、「東京大神宮盆踊り」
などお祭りが盛んな地域です。
とりわけ「氏神築土神社例大
祭」は氏神ということもあり町
会の活動のなかでいちばん盛り
上がりです。縁日は焼きそばが
2000食ほど出る盛況ぶりです。
こうした伝統文化を通して
子どもたちが地域に親しみを持
つてくれたら嬉しいですね。その
ため今年は、子ども神輿を修繕
しました。「誰でも担ぎなければ
来てください」というのがうちの
スタイルですので、半纏は貸し
出しますし、どの町会の半纏を
着てもOKです。お祭りや餅つき
大会などは、地域貢献青年会
「竹の会」が実働部隊として動い
てくれています。また、隣町と合
同行うイベントもあります。
町内だけで小規模にまとまらな
いよう横のつながりを大切に活
動の輪を広げていきたいですね。

若い役員も活動しやすいよう
SNSやホームページを活用

町会の連絡は公式LINEや
公式ホームページを活用してい
ます。ただ、マンションでひと
り暮らしをしているお年寄りも
多いので、行事によってはチャ
シをマンションの掲示板に貼る
という方法も取っています。公
式ホームページの「ご意見番」
というコーナーでは、住民から
のお問い合わせも受け付けてい
ます。ありがたいことに「町会
に入るにはどうすればよいです
か?」という質問が多いですね。
また、役員同士もグループプ
レーNEで意見を交わしています。
会社勤めの方もいるため、会う
よりも効率的な場合が多いです
ね。各役員は役割が明確なので、
投稿を見て各自やるべき仕事に
行動を移すという良い流れが整
っています。時代に合わせて柔
軟に体制を変えることで、若い
方も関わりやすい町会をめざし
ています。



町会のお知らせは公式LINEを
使用することで、発信力をUP。
町会員たちとスピーディーで円
滑なコミュニケーションをはか
っている。



町会とゆかりのあるアートディレクター・秋山具義氏が、学生時代から「神田祭」の町会用ポスターを特別にデザイン。今年で20作品を越える。

江戸っ子の心意気で 粋で賑やかな町会行事を たくさん開催

レクリエーションや防災訓練を通し、町会の和を深める

神田佐久間町三丁目町会 会長 小林 一治さん

暮らし方が変わるなか、住民との円滑な交流が課題

70年以上の歴史がある町会で、私は4年前より10代目の町会長に就任しました。8ヶ町が所属する秋葉原東部町会連合会では、各町会長が持ち回りで会長になりますが、現在は私がその会長を務めています。私自身は小学生の頃にこの地へ越してきました。その頃は、秋葉原に野菜市場があり、多くの個人商店も軒を連ねていたもので、まち並みは大きく変わりました。かつての商店はビルに代わり、今では一部をテナントにして貸しつつ上階に暮らすという方も少なくありません。住民数は増えましたが、その分いかに円滑に「コミュニケーションをとるか、というのが課題となっています。



●神田佐久間町三丁目町会

神田佐久間町の歴史は古く、江戸時代から町名が続いている。JR秋葉原駅が最寄り駅の都心にあり、個人宅82世帯、法人78世帯が町会に登録。「佐久間公園」では町会行事が度々行われている。



多くの人出がある「こども縁日」。今年はこども縁日券（前売、当日含む）400枚が30分で完売。大勢の人が食べ歩きやゲームを楽しんだ。

**ラジオ体操も大盛況！
夏は楽しい催しが目白押し**

エリア内でたくさんのお祭りやイベントがあるため、町会に活気があります。草分稲荷神社の「初午祭り」のほか、今年は「神田祭」も開催されました。「神田祭」当日は300枚の貸半纏を用意して、町会以外の外部団体にも一緒に盛り上げてもらっています。95年の歴史を持つラジオ体操も大盛況で、この夏は子どもから大人まで毎日50名以上の参加者が訪れました。皆勤賞として図書券を用意しているほか、参加したお子さん全員に「こども縁日」の子供券をプレゼントしているのでも、そういう楽しみが皆さんの励みになっているのでしょうか。さらに夏は「納涼盆踊り」もあり、イベントが目白押し。3町会合同で行う「こども縁日」は今年で40回目を迎えるため、子どもの頃楽しませてもらった人が、現在は青年部員として今の開催を支えている光景が頼もしいです。



2月に行われる、草分稲荷神社の「初午祭り」では、青年部主催の餅つき大会も開催。町会を問わず多くの方が、餅つきを楽しめる。

近隣町会とも連携し、仲間意識を持つてまち作り

運営するうえで大切にしていることは、「安全・安心・和」です。そのため、防災訓練や歳末夜警なども毎年欠かしません。最近はマンションに住んでいる人も多いので、避難訓練も自宅待機を主体とした方法に変わってきました。それでも、消防士と共に消防訓練の必要性を考慮し、町会行事として続けています。また、バーベキュー大会、スキー旅行、さんま焼き大会など、青年部のレクリエーションも例年趣向をこらし、町会の和を深める場として一役買っています。こうした町内の行事をみんなで仲間意識をもって進めていくことが団結するためには大事だと思っています。今後は、新たな住民の方々にも参加していただけるよう近隣町会と一緒に開催できるイベントをもっと充実させ、町会を一層盛り上げていきたいです。

TCN からのお知らせ①

TCN 公式 LINE、始めました！

この度、TCN の LINE 公式アカウントを開設しました。
たくさんの友だち登録をお待ちしています♪

友だち登録をしていただくと…

サービス・お得な
キャンペーンなどの
最新情報が届く！

ご利用中のサービス
のお困りごとを
簡単検索！

LINE 友だち限定の
プレゼントに
応募できる♪



▼友だち追加方法▼

①スマートフォン等からLINEアプリで
下記二次元コードを読み込む



または LINE アプリで
[東京ケーブルネットワーク (TCN)]
[@tokyocablenetwork] と検索

②「友だち追加」ボタンを押して完了！



神田猿楽町町会主催で始まった、水鉄砲バトル大会「ちよだスプラッシュ」は、年々規模が拡大している。

若い役員たちが先頭となり 新しいアイデアで 地域全体を盛り上げる

再開発が進むなか、安心・安全なまちづくりをめざす

神田猿楽町町会 会長 青野 芳久さん

**下町情緒あふれるまちで
様々な町会活動を経験**

このあたりは、本のまちとして知られていますが、私の実家も江戸時代から続く本屋で、今の家がある場所はずっと本屋の倉庫として使われていました。昔は商店、印刷所、銭湯などが多く立ち並び、結婚式があると花嫁が町内をまわる慣わしもある下町情緒あふれる雰囲気でした。私は生まれも育ちも神田猿楽町ですが、20歳の頃に母から「何らかのかたちで地域に貢献しなさい」という話が出たのがきっかけで、神田消防団に入団し、30年間続けました。他に青少年部や体育部、会計なども担当し、町会長に就任したのは3年前です。今も会社勤めをしながら町会活動を行っています。



●神田猿楽町町会

1953年に発足した、約197世帯からなる町会。千代田区神田猿楽町1・2丁目が属する。夏目漱石の母校である「お茶の水小学校」（旧・錦華小学校）をはじめ、「明治大学」、「神田女学園」など、学校も多い。

地域全体で熱くなる 祭りやイベントが満載

新しいことをどんどん取り入れようとする若い役員が多く、水鉄砲バトル「ちよだスプラッシュ」を開催したり、「神田祭」のお神輿の上に360度カメラを付けて臨場感あふれる撮影をしたり、ユニークなアイデアを提案し、実行しています。イベントごとに熱くなる町民が多いので、「神田祭」はもちろん、「千代田区民体育大会」に神保町地区からは例年多数の住民が参加し、大変盛り上がりがあります。神保町地区では令和6年第62回まで3回連続優勝し、優勝賞金で祝勝会を行いました。そういう楽しいイベントで交流が生まれ、町会に興味を持ってくださる方が多いですね。また、町内には歴史的建造物となっている町会の詰所や共立女子大学の生徒さんがデザインし、地域全体で実現させたカラーマンホールなどがあり、まちの活性化につながっています。



かつて駐在所として建てられたノスタルジックな雰囲気の「神田猿楽町町会詰所」。2003年に千代田区景観まちづくり重要物件に指定された。

セキュリティカメラで 地域の安心を確保

安全・安心な住みやすいまちづくりをすすめることが、町会としての大きな役割のひとつだと考えています。そのため、昨年は防犯を目的としたセキュリティカメラを警察・千代田区と協力して、町会の区域内に5基設定しました。そうした町会活動の案内は、「こちら神保町」のホームページやインスタグラム、神田猿楽町のユーチューブなどで配信しています。さらに、必要に応じて、電子ファイルやメールでお送りしたり、お年寄りには、印刷してポストに投函したり、状況に応じて対応しています。このエリアは、今後も再開発が進んでいて、この先町並みがガラリと変わってくると思います。新しい住民の方々も増えているので、コミュニケーションがとりやすいまちづくりをめざしていきたいです。



まちにゆかりのある夏目漱石をイメージしてデザインされたカラーマンホールが昨年設置された。錦華小学校の歩道で見ることができる。

「あらぶんちょ!チャンネル」でいつでも“コミチャン”視聴♪

TCN公式YouTubeチャンネル「あらぶんちょ!チャンネル」。
コミュニティチャンネルで放送中のオリジナル番組のバックナンバーや、YouTubeだけの限定コンテンツを配信中!また、地域イベントやスポーツの生配信も行い、地元の最新情報をお届けしています。
番組を見逃した方、ケーブルテレビをご視聴できない方は、ぜひ公式YouTubeをご活用ください!

<https://www.youtube.com/user/tokyocablenetwork> ▶▶▶

